



鹿骨東小学校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

平和な未来を築くために

江戸川区立鹿骨東小学校

校長 中田 伸代

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

令和7年のスタートです。おかげさまで鹿骨東小学校では大きな事件や事故の報告もなく、穏やかな3学期スタートとなりました。本当にありがたいことと思います。

「平和」という言葉を広辞苑で引くと、「①やすらかにやわらぐこと。穏やかで変わりのないこと。②戦争がなくて世が安穩であること。」と書かれています

学校生活で言えば、子供たちが安心して生活ができ、心穏やかに、事件事故なく、安全に学習や行事に取り組めることが最も大切だと思います。今年も子供たちの学習環境づくりに尽力してまいります。

また、学校は未来の宝である子供たちに、様々な「種をまく」場所でもあると思います。そのため、本校では様々な外部講師をお招きして、ふるさと学習や文化芸術に触れる活動等、「本物に触れる体験活動」にも多く取り組んでいます。昨年は、日本の原水爆被爆者団体協議会が、ノーベル平和賞を受賞されました。6年生は被爆者の方から直接、当時の体験を伺う出前授業を受けましたが、そのような機会も、被爆者の高齢化と共に、だんだん難しくなっています。被爆者の方のお話をじかに伺いながら、戦争がなく、平和な日本で子供たちと共に日々の教育活動に取り組めることを本当に幸せに思いました。戦後80年を迎えた今、私たちはこの平和を日々実感し、次世代に引き継ぐ責任があると感じています。

本校の子供たちが取り組んでいるSDGsの活動も、平和で持続可能な世界が続くためにとても大切な活動です。持続可能な世界とは、環境、経済、社会が安定し、未来の世代が安心して暮らせる地球環境を維持することで成り立つと思います。小学校の時に環境問題や持続可能な社会について学んだ子供たちは10代で環境問題への意識が高く、消費行動を変える活動を実行している割合が高いことが「サステナブル社会の実現に関する消費者意識調査」(BCGボストンコンサルティンググループが継続して取り組んでいる調査)で解っているそうです。本校でSDGsの学習をしている子供たちはきっと将来「自分ごと」として平和で、持続可能な社会を維持する人材に育つことと思います。

未来を担う子供たちは、将来の希望です。学校教育を通じて、子供たちに異文化共生や他者理解などの意識を育て、人とかかわりの中で共に生きる力をはぐくんでまいりたいと思います。



写真は、本校大13代PTA会長でふるさと学習(しめ縄づくり)講師の池田康弘様から学校にいただいたものです。

宝船を見ているだけで、元気が出て、幸せな気持ちになります。

皆様にもおすそ分けです。

